

平成 21 年度後期 I

3 年「環境保健学」(選択)

日 時：金曜日 9:15-12:10

場 所：医学部 3 号館 N101 号教室

責任教員：渡辺知保(人類生態学)

- | | | |
|-----------|-----|---|
| 10 月 23 日 | (金) | 大気汚染とその健康影響
新田裕史(国立環境研究所) |
| 10 月 30 日 | (金) | 環境有害化学物質の毒性発現メカニズムと健康リスク評価
大迫誠一郎(疾患生命工学センター) |
| 11 月 6 日 | (金) | 職場環境における化学物質による中毒とその予防について
吉田 稔(八戸大学) |
| 11 月 13 日 | (金) | 休講 |
| 11 月 20 日 | (金) | 環境リスクアセスメント／疾病の多様性とヒトの適応
中澤 港(群馬大学) |
| 11 月 27 日 | (金) | 人と自然の共生からみた地域生態系健康論
本郷哲郎(山梨県環境科学研究所) |
| 12 月 4 日 | (金) | 健康にとって“良い”環境とは何か(仮題)
渡辺知保(人類生態学) |

【参考図書】

- * 花井莊輔著『初めての一步！化学物質のリスクアセスメント/図と事例で理解を広げよう』丸善 (2003)
- * 長山淳哉著『ダイオキシンは怖くないという嘘』緑風出版 (2007)
- * 井村裕夫、尾形悦郎、高久史磨、垂井清一郎編集『環境因子による疾患 (環境性疾患 1) / 最新内科学大系 75 巻』中山書店 (1994)
- * 石弘之、安田嘉憲、湯浅赳男著『環境と文明の世界史』洋泉社 (2001)
- * Millennium Ecosystem Assessment 編『国連ミレニアムエコシステム評価：生態系サービスと人類の将来』オーム社 (2007)
- * 中島正博著『持続可能な発展のための人間の条件』大学教育出版 (2005)
- * 中西準子、益永茂樹、松田裕之編『演習：環境リスクを計算する』岩波書店 (2003)
- * 稲葉寿編著『感染症の数理モデル』培風館 (2008)

【評価】

各回講義中の小テストあるいは小レポートによる。